

一人ひとりに合った支援に向けて

特別支援教育

特別支援教育って？

特別支援教育とは、生活や学習上の困難を抱えている子どもの自立に向け、一人ひとりのニーズに応じた指導や支援をするものです。

一貫して支援をつなげる

特別支援教育は、幼児期から高校卒業までの一貫した支援を目指しています。

幼稚園から小学校へ、中学校、高等学校、そして社会へと移行する節目にあたる時期は、生活環境や学習状況が大きく変わります。支援が必要な子どもと保護者の心配や負担を少なくするためには、支援情報を次の進路先へつなげる必要があります。

そこで、様々な支援情報が共有できるよう、協議会を設置しています。

松前町での主な取組み

町内のネットワーク

「松前町特別支援連携協議会」

町立幼稚園、保育所、小・中学校において障害のある子どものニーズに応じた支援を行うため、医療・保健・福祉・教育などの各機関や専門家からなる協議会を設置しています。定期的に協議し、研修会や講演会も実施しています。

具体的な支援の手立て

① 個別の支援計画

関係機関が情報を共有し、長期的な視点で支援の内容や関係者の役割分担などを計画するものです。一貫した支援につなげられるよう、保護者も含めて関係機関が連携して策定します。

② 個別の指導計画

一人ひとりへの実際の支援の手立てとして各学校で作成するものです。各学年・学期での指導目標・指導方法を盛り込んでいます。

(例) ・学習面
・運動面
・行動面
・社会性

達成状況や実態から具体的な目標などを立てます。

個別の支援計画

